

（仮称）新スケート・カーリング場整備基本計画（案）に対する
ご意見の概要と札幌市の考え方

1 意見募集の概要

意見募集期間	令和6年12月23日（月）から令和7年1月31日（金）まで
意見募集方法	郵送、持参、FAX、電子メール、ホームページ（ご意見入力フォーム）
資料配布・ 閲覧場所	札幌市スポーツ局、札幌市役所本庁舎（2階市政刊行物コーナー）、各区役所（総務企画課広聴係）、各まちづくりセンター、市有スポーツ施設（美香保体育館、月寒体育館、星置スケート場、どうぎんカーリングスタジアム、スポーツ交流施設（つどーむ））

2 意見の内訳

（1）意見提出者数・意見件数

11人・22件

（2）年代別内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
人数	1人	0人	0人	2人	5人	1人	2人	11人

（3）提出方法別内訳

方法	郵送	持参	FAX	電子メール	ホームページ	合計
人数	0人	0人	0人	1人	10人	11人

（4）意見内訳

意見区分	件数	構成比
序章 はじめに	0件	0%
第1章 美香保体育館の現状及び課題	0件	0%
第2章 新スケート・カーリング場整備の方向性	0件	0%
第3章 整備予定地及び将来イメージ	3件	14%
第4章 基本方針及び導入機能	0件	0%
第5章 施設計画	12件	55%
第6章 事業手法	1件	4%
第7章 事業スケジュール	0件	0%
第8章 今後に向けて	2件	9%
その他の意見	4件	18%
合 計	22件	100%

3 ご意見の概要と札幌市の考え方

いただいたご意見の概要と、札幌市の考え方は以下のとおりです。なお、ご意見は、趣旨が変わらない程度に取りまとめ、要約して示しています。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
第3章 整備予定地及び将来イメージ		
1	整備予定地であるつどーむへの集約は賛成である。	新スケート・カーリング場の整備にあたり、つどーむ敷地への集約による整備効果を発揮できるよう、計画を進めていきます。
2	整備予定地について、交通アクセスを考えると、大和ハウス プレミストドーム（札幌ドーム）周辺に整備したほうがいいのではないかと。	アイスリンクは、現在、市内の北西・北東・南西・南東それぞれにあり、市域全体として比較的均衡のある配置となっていることから、新スケート・カーリング場についてもこれを踏襲し、現施設近傍での整備を検討してきました。さらに、他の施設との集約・複合化、まちづくりとの連携の可能性などを踏まえ、施設の整備効果が見込まれるつどーむ敷地が適していると考えています。
3	現在は、共働き世代が多く、子どもがスポーツをするにしても、施設への送迎や付添いの負担が大きい場合がある。そのため、新スケート・カーリング場は地下鉄駅から近い場所に整備してほしい。	
第5章 施設計画		
4	配置計画は案2（新スケート・カーリング場を多目的広場に配置）にしてほしい。	ご意見のとおり、多目的広場のスペース及び駐車台数の確保の観点から、配置計画は案2（新スケート・カーリング場を多目的広場に配置）とする予定です。
5	つどーむの球技場は、市内で数少ないオートバイや子ども用ランニングバイクの練習が可能な場所であることから、駐車場化するのではなく、現状のまま維持してほしい。	新スケート・カーリング場の整備により、利用者の増加が見込まれることから、つどーむの既存の駐車場に加えて、球技場を駐車場化することにより、駐車台数を確保する必要があると考えています。なお、駐車場の需要が少ない場合におけるイベント等の利用可否については、今後検討していきます。
6	化学物質過敏症の方向けに、大会観戦時の香りに関するエチケットの啓発や、十分な換気の確保をしてほしい。	化学物質により体調を崩される方がいるということを踏まえ、札幌市が所管する他のスポーツ施設と同様に、香りのエチケットについて周知するとともに、十分な換気量を確保するよう努め、誰もが利用しやすい施設となるよう、今後検討していきます。
7	新スケート・カーリング場の中に、ランニングなどができるウォーミングアップスペースを作してほしい。	新スケート・カーリング場の利用者のウォーミングアップスペースとしては、近接するつどーむのトレーニング室や、ランニングコースを利用していただくことを想定しています。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
8	多くの方に利用してもらうために、カーリングシートを6シート整備してほしい。	新スケート・カーリング場のカーリングリンクでは、どうぎんカーリングスタジアムの利用状況や、競技関係者への調査結果などにより把握した課題等を踏まえ、5シート整備することとしています。整備費・維持管理運営費の負担などを踏まえると、カーリングシートを6シート整備することは、困難であると考えています。
9	新スケート・カーリング場の設計にあたっては、選手や報道関係者の意見を聞きながら進めた方がいい。	いただいたご意見を参考として、競技団体や報道関係者の意見を伺いながら、設計を進めていきます。
10	観客席について、カーリングリンクと一体で観戦できる席と、ガラスで空間を仕切った上で観戦できる席を整備してほしい。 【関連意見 1件】	観客席の設置場所や構造については、利用方法や大会規模に適切に対応することを念頭に、いただいたご意見も参考にしながら、今後検討していきます。
11	カーリングリンクについて、ハウス内のストーンの配置が投げ手から確認できるように、モニターを設置してほしい。	いただいたご意見を参考として、利用者にとってより良い施設となるよう、今後検討していきます。
12	カーリングリンクの整備にあたり、全国大会レベルの大会開催を想定するのであれば、選手、観客、運営者、報道関係者などの各関係者のスペースを確保できるよう、余裕を持った設計にしてほしい。	いただいたご意見を参考として、新スケート・カーリング場で日本カーリング選手権大会等の全国大会レベルの大会開催が可能となるよう、今後検討していきます。
13	カーリングリンクについて、全国大会・国際大会レベルの大会を招致するために以下の点に配慮してほしい。 ・感染症対策を意識した動線計画 ・ドーピング検査に対応可能な採尿室を含む検査室の整備 ・選手、観客、報道関係者の出入口を別にし、大会関係者用の大型車両の駐車スペースを施設の入口付近に設置	

No.	意見の概要	札幌市の考え方
14	美香保体育館、月寒体育館及び星置スケート場の敷地等の売却や、企業等からの寄付金により、新スケート・カーリング場の整備費を調達できるのではないか。	美香保体育館及び月寒体育館の敷地については、今後、有効な跡地活用を検討のうえ、取扱いを決定します。また、星置スケート場については、現在の利用状況から必要なスケートリンクのひとつとして、引き続き維持していきます。 なお、整備費の調達にあたっては、札幌市の財政負担軽減に向け、寄付金や補助金等の活用も視野に、今後検討していきます。
第6章 事業手法		
15	事業手法について、DB+0方式の採用は賛成である。	新スケート・カーリング場の整備にあたり、DB+0方式の採用による財政負担軽減効果等のメリットを発揮できるよう、今後の事業者選定に向けた検討を進めていきます。
第8章 今後に向けて		
16	今後、オリンピックを招致する場合、1972年の札幌オリンピックの会場となった施設は、レガシーとしてアピールできる材料になると思う。そのため、美香保体育館は、解体するのではなく、レガシーとして建替えた上で残すことはできないか。 また、月寒体育館も同様に、大和ハウス プレミストドーム（札幌ドーム）周辺に後継施設を整備しつつ、現地でも月寒体育館を残すことはできないか。	美香保体育館については、新スケート・カーリング場の供用開始後に解体することとしています。また、将来にわたり持続可能な施設環境を実現するためには、月寒体育館を含め、現在の施設数を超えるスケートリンクを維持することは困難だと考えています。レガシーの継承については、必要であると考えており、今後、方法を検討していきます。
17	美香保体育館は、老朽化で使い道がないため、売却したほうがいい。	美香保体育館は、新スケート・カーリング場の供用開始後に解体することとし、美香保体育館の跡地利用については、地域や利用者等のご意見を踏まえ、今後検討していきます。
その他		
18	新スケート・カーリング場の利用者がつどむのトレーニング室やランニングコースを利用する場合の料金を想定してほしい。	いただいたご意見を参考として、利用料金を今後検討していきます。

No.	意見の概要	札幌市の考え方
19	新スケート・カーリング場整備にお金をかけるのであれば、福祉施策に予算を充てるべき。	ご意見のとおり、福祉施策の充実については、重要な取組の一つですが、札幌市としては、ウインタースポーツの裾野拡大に向けた取組についても重要な施策と考えており、誰もが気軽にウインタースポーツを楽しむことができる環境の充実を目指しているところです。 特に、市民がウインタースポーツに取り組む上で重要な施設であるアイスリンクについては、多くが 2030 年頃に更新時期を迎えることから、対応が必要な状況です。今後もアイスリンク機能を確保していくためには、新スケート・カーリング場の整備が必要だと考えています。
20	高齢者や子どもたちのために、フロアカーリングができるスペースを整備してほしい。また、町内会が利用できるようなテーブルや椅子を設けてほしい。	新スケート・カーリング場は、アイスリンク機能の維持・強化を目的とした施設であり、フロアカーリング専用のスペースを整備する予定はありませんが、いただいたご意見を参考として、誰もが利用しやすい施設となるよう、今後検討していきます。
21	カーリングリンクを整備したとしても、氷の状態が悪ければ意味がない。氷を常に良い状態に保ち、かつ、今後大規模な大会開催も視野に入れるのであれば、アイスメーカーの育成が必要である。	新スケート・カーリング場のカーリングリンクについては、高いレベルの氷の品質を常時確保する必要があると考えています。今後、運営段階も含めアイスメーカーの確保や育成につながる施設整備を検討していきます。